

光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校

校長 豊田 貴志

令和8年度 第1号

令和8年4月10日

「一人ひとりが学校をつくる」

校長 豊田 貴志

東京の桜の開花日は、靖国神社にある「ひょうほんぼく標本木」が基準となっています。昨年、一昨年の桜の開花日は3月下旬でしたが年によっては3月中旬に咲く場合もあり、今年は3月19日が開花日でした。早く桜が咲くと、入学式までに花が散ってしまうこともあります。校庭の桜は新入生の入学まで待って来てくれました。4月8日（水）の入学式では、新入生111名を迎え、全校生徒281名で令和8年度の光が丘第一中学校がスタートしました。



4月は、期待と不安が入り混じる時期です。新しい学年、新しい学級、新しい友達、新しい先生。環境が変わることで、張り切る気持ちが生まれる一方で、「うまくやっていけるだろうか」と不安になることもあると思います。しかし、そのような気持ちになるのは決して特別なことではありません。誰もが新しいスタートの前では、少し緊張し、少し戸惑いながら歩み始めます。

学校は、一人で頑張る場所ではありません。困ったとき、悩んだとき、うまくいかないときには、周りにいる友人や先生を頼ってください。反対に、周りに困っている人がいたら、ぜひ声をかけてください。教室や学校は、誰かがつくってくれるものではなく、一人一人の言葉や行動によってつくられていきます。



例えば、朝のあいさつが自然に交わされる学校、授業で友達の意見を最後まで聞ける学校、失敗してしまった人を責めるのではなく励ますことができる学校。そんな学校は、特別な誰かがつくるのではなく、皆さん一人一人の小さな行動の積み重ねから生まれます。

光が丘第一中学校では、2つの学校スローガンを掲げています。

「凡事徹底」…当たり前のことを誰よりも一生懸命やり続けること

「心を形に」…感謝の気持ちや、自分のよい心を、他人に形に見えるよう伝えること

特別に難しいことはありませんが、「続けること」は簡単なことではありません。だからこそ、一人一人が少しずつ意識し、できることを増やしていくことが大切です。

新年度のスタートにあたり、ぜひ自分なりの目標の一つ決めてみてください。「毎日、自分からあいさつをする」「提出物を忘れない」「授業で一回は発言する」など、小さな目標で構いません。小さな積み重ねは、やがて大きな成長につながっていきます。



保護者、地域の皆様におかれましては、本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をいただければ幸いです。生徒が安心して学校生活を送り、自分らしく成長できるよう、学校・家庭・地域が力を合わせて参りたいと思います。令和8年度もどうぞよろしくお願いいたします。